

- 特別支援学校における技能検定の実施状況等について、御説明申し上げます。
- 本県では、特別支援学校高等部に通う知的障害のある生徒の就労を支援するため、学校や関係企業団体と連携いたしまして本県独自で開発した認定資格に基づく「技能検定」を、平成 23 年度から実施しております。
- 昨年度の実施状況につきましては、前年度から受検者が減少している理由といたしまして、指導する教員のスキルアップもありまして、日々の教育活動によって力を付けた生徒が、高等部 3 年間のうち、早い段階で 1 級を取得するなど、少ない回数で 1 級を取得した結果だと捉えています。
- 技能検定を経験し、さらに高い目標に向かって挑戦しようとする生徒も増えており、広島県障害者技能競技大会「ひろしまアビリンピック」への参加も増えつつあります。
- 続きまして、昨年度の特別支援学校高等部の一般企業への就職率は 38.0%であり、過去最高を記録しました全国第 3 位の就職率であった前年度の 40.8%からは減少いたしましたけれども、過去 2 番目に高い就職率となっております。
- 最後に、今後の取組でございますけれども、今年度も技能検定を上期・下期の年 2 回、実施する予定でしたがけれども、残念ながら新型コロナウイルス感染防止の観点から、上期におきましては一部の種目を中止することとしております。
- 現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、雇用情勢が悪化することが見込まれておりますけれども、就労を希望する生徒の職業的自立に向けまして、働く意欲の向上や、粘り強く取り組む態度を育成するよう、職業教育の充実を図ってまいりたいと思っております。
- 説明は以上でございます。